

街路樹に用いられる主な樹木

○「クスノキ」〔常緑高木／クスノキ科〕

兵庫県の木で、市内の街路樹では一番多く植えられている高木です。雄大な姿で、ボリュームのあるみどりを与えてくれます。常緑樹の中では葉の色が明るめです。



フラワーロード（税関線）

○「ケヤキ」〔落葉高木／ニレ科〕

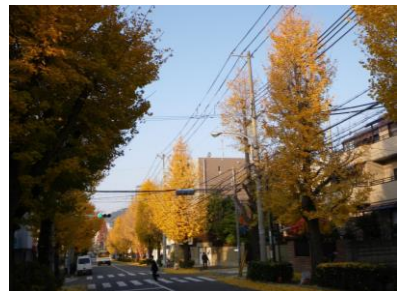
美しい緑のトンネルをつくる姿が人気の樹木です。夏にはさわやかな緑陰をつくります。新緑や紅葉も美しく、一年を通して楽しめる樹木です。



旧居留地

○「イチョウ」〔落葉高木／イチョウ科〕

雌雄が分かれており、雌木にはギンナンが実ることで有名です。円錐形の姿が特徴的で、整然とならんだ姿が美しい景観をつくります。また、秋には美しい黄葉をみせてくれます。



国体通り（神若線）

○「トウカエデ」〔落葉高木／カエデ科〕

中国の原産（唐楓）。葉は3裂し、三角状。寒い地域では美しく紅葉します。



北野坂（北野川線）

○「アメリカフウ・台湾フウ」〔落葉高木／マンサク科〕

葉が5裂または3裂し、幹がまっすぐに伸びます。秋に真っ赤に紅葉し、美しい街路景観をつくります。



小倉台幹線

○「サクラ」〔落葉高木／バラ科〕

春に花いっぱいの美しい景観をつくれます。

「サクラ」は総称で、代表的な品種である「ソメイヨシノ」は、市内でも街路樹としてよく使われています。桜のトンネルを楽しめる路線もあります。



宇治川右岸線

○「ユリノキ」〔落葉高木／モクレン科〕

真っ直ぐに伸びる樹形が美しく、成長も早いため街路樹にも多く使われています。

葉がハンテンに似ていることからハンテンボク、花がチューリップに似ていることからチューリップツリーとも呼ばれます。



山手幹線

○「クロマツ」〔常緑高木／マツ科〕

日本の海岸に自生するマツで、アカマツに比べて樹皮が黒っぽいのが特徴です。

葉が固く枝葉が力強いことから、雄松と呼ばれます。
(アカマツは雌松と呼ばれる)



離宮道